

1. 題材 「おめでとうカードをおくろう」

2. 本活動設定の理由

○こんな児童だから

本学級の児童（男子17名、女子17名）は、第1、2学年時において、年間3時間（学期に1度）の英語活動に、体験的に取り組んできている。GTの先生と一緒に、挨拶の仕方、1～10までの数、色など身近な物の言い方に慣れ親しんできた。

本学年においては、総合的な学習の時間で月に2、3時間程度、英語活動に取り組んできている。これまでに、自己紹介の仕方、気分の言い方、身近な物の言い方（動物、20までの数、文房具、家族）を題材に、歌を歌ったりやゲームをしたりしてALTの先生や友達と楽しくかかわることができた。毎時間ALTの先生と一緒に活動することで、児童は英語活動の時間を楽しみにするようになってきた。ALTの先生ともっと仲良くなりたいという思いから、自分から挨拶をしたり、休み時間や給食時間に身ぶり手ぶりを交えて質問したりと、進んでコミュニケーションしようとする姿が見られるようになってきた。今後、定期的な英語活動を積み重ねていくことで、さらに多くの児童が進んでコミュニケーションしようとする姿が期待できる。

○こんなトピックで

本校に来ているGillian先生にもうすぐ赤ちゃんが生まれる。本学級の児童は、Gillian先生のお腹をさわらせてもらったり、生まれてくる赤ちゃんの名前をたずねたりしながら、赤ちゃんの誕生を心待ちにしているようである。そこで、本トピックではALTのAmanda先生に、カードの作り方を教えてもらいながら、外国の先生に喜んでもらえるような「おめでとうカード」作りをする。その際、必要な言い方や赤ちゃん誕生にちなんだ言葉を知り、それらを使いながらコミュニケーションがとれるようにする。相手意識、目的意識をしっかりとらせるこのできる本トピックは、外国の先生ともっと仲良くなりたいという児童の願いに寄り添うことができ、それぞれが意欲を持って取り組むことのできる題材だと考える。

○こんな「3つの場」の工夫で

児童が、身近な英語を使ってコミュニケーションを楽しもうとする意欲を高めるために、単元を3つの場で構成し、各場でトピックへの興味・関心を高めるために下記のような活動の工夫を行っていく。

(1)「モチベーションを高める場」では、ALTとHRTとで簡単なスキットを行う。そこから、赤ちゃん誕生にカードを贈る外国の慣習を知らせ、自分たちも贈ってみたいという意欲をもたせるようにする。また、ALTが示すモデルとなるカードを見て、教えてもらいながら一緒に作りたいという、コミュニケーションへの意欲を高めるようにする。

(2)「スキルアップの場」では、「おめでとうカード」作りという体験的な活動を通して、ALTと自由にコミュニケーションできる場を設定する。その際、必要になってくる言い方をクラスルームイングリッシュとして確認したり、自分が知りたい言い方に出会わせたりすることによって、児童のコミュニケーションへの意欲を高め、進んで関わろうとする態度を育てるようにする。

(3)「トライの場」では、Gillian先生と赤ちゃんを招待し「おめでとうパーティー」を開く。これまで心を込めて作ったカードを渡したり直接「おめでとう」と伝えたりする場を設定することで、本トピックの活動への達成感を味わわせるようにする。

3. 単元目標

- 「おめでとうカード」作りを通して、進んでALTや友達と関わろうとする。
- I want ～. This one, please.の表現に慣れ親しむ。

4. 活動計画 (全4時間)

時	ねらいと児童の主な活動	主な言語材料	研究にかかわる手だて
モチベーションを高める場	○トピックに興味・関心をもつ。 →カードを贈る慣習を知る。 ○赤ちゃん誕生にちなんだ言葉や、カード作りに必要な言い方を知る。 →ALTが作ったカードを見ながら、言い方の練習をする。	stork / balloon / baby / toys / Congratulation Card / I want ~. This one, please. What's this? One more time, please.	◎HRTとALTによるスキットを行う。 →Gillian先生にカードを贈りたいという願いをもたせるようにする。 ◎既習の言い方をふり返ることができるように、絵カードを掲示しておく。
スキルアップの場	○赤ちゃん誕生にちなんだ言葉や、カード作りに必要な言い方を使って、自分なりの工夫を加えたカード作りをする。 →ほしい部品を言ったり、自分なりの工夫をALTに伝える。	I want red balloon. I like pink. I want a star shape. This one, please.	◎児童が必要とする部品を準備する。 →ほしいものを選択したり、組み合わせたりすることができるようにする。 ◎クラスルームイングリッシュとして、たずね方をおさえる。 →自分なりの工夫ができるように、進んでたずねることができるようにする。
トライの場	○Gillian先生と赤ちゃんを招待し、おめでとうパーティーを開く。 →おめでとうの気持ちを伝え、カードを手渡す。	Congratulation! Here you are.	◎実際に手渡すことができるような場を設定する。 →児童が活動の達成感を味わうことができるようにする。

5. 本時 平成18年10月18日(水) 5校時 ○の○教室にて

6. 本時指導の考え方

本学級の子どもたちは、前時までにALTの示すカードやHRTとのスキットを見て、自分たちも「おめでとうカード」を作って贈りたいという意欲を高めてきている。また、そのために必要な言語材料をALTと一緒に練習したり、ゲームをしたりして親しんできている。

そこで、本時では、「おめでとうカード」を作るために、ALTが教える作り方を熱心に聞いたり、ほしい部品を自ら伝えたりしながら、楽しくコミュニケーションすることを主なねらいとしている。「Gillian先生に喜んでもらいたい」「きれいなカードを作りたい」という思いから、ALTの説明をすすんで聞こうとし、自分がほしいものは身ぶり手ぶりをまじえながらも伝えようとする態度が育てられると考えている。また、自由にコミュニケーションできる場を設定することで、「どんなふうに言っているのか分からない」「こんな時どういけばいいのか」などの児童が困ってしまう場面も出てくるであろう。そのために、必要に応じて児童のためのクラスルームイングリッシュを提示していくようにする。自分が知りたい言葉に出会ったり、自分の課題が解決されたりすることで、コミュニケーションへの意欲をさらに高めることができるであろうと考える。

7. 本時授業仮説

ALTと自由にコミュニケーションできる場を設定すれば、自分から話しかけたり自分の作っているものを見せたりと、すすんで関わるができるであろう。

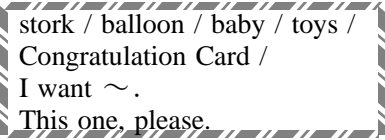
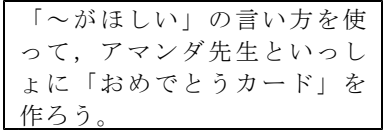
8. 本時(2/4)の目標

- I want ~. This one, please.の表現に慣れ親しむ。
- ALTの先生と一緒に楽しくコミュニケーション活動に取り組もうとする。

9. 準備

教師：板書用絵カード、音楽CD、提示用おめでとうカード、デジタルカメラ
児童：はさみ、のり、色鉛筆、ふり返しカード

10. 本時活動の展開

procedure	活動内容と児童の主な発言	HRT	ALT
Greeting (5 min.)	1. 歌を歌う。 ♪ Hello Song	Let' sing a song, "Hello Song"! Any Volunteers?	Say "Hello" to children, and ask some students "How are you?"
	2. はじめの挨拶をする。 Hello, Amanda-Sensei. I'm fine / hot / good.	Now, let's start! Hello, Amanda-Sensei.	
Warm up (5 min.)	3. 前時のふり返りをする。  4. 本時のめあてを確認する。 	Do you remember the last class? 前時までの活動の様子が分かるように、絵カードを提示しておく。 ◎分からない言葉を聞き返せるようにクラスルームイングリッシュを掲示しておく。 →前時をふり返り意欲的に聞き返している。 ◎カードを贈る相手を意識させるために、ジリアン先生からのメッセージビデオを見せる。 →贈る相手を意識し、カード作りへの意欲を高めている。	Have the students review the last class. Show the students some cards that you've made. (we try to stir up their interest.)
Activity (20min.)	5. カード作りをする。 ほしい部品の色や大きさを選び、カードの表紙部分を作成する。 I want red balloon. I want three toys. This one, please. 日本や外国のカードを見て、作ってみたい物のイメージを高めたり、工夫してみたいところをたずねたりする。 片付けをする。	We ready a lot of stickers for you. ・色や形、大きさを選べるような材料を準備しておく。 ◎ ALT とのフリートークの場を確保する。 →自分なりの工夫を加えるために、ALT に尋ねたり、作品を見せたりしている。 ・板書用カードを提示し、どのような材料があるかいつでも確かめることができるようにする。 ◎机間巡視の際、児童がどんなことを尋ねようとしているか把握し、クラスルームイングリッシュにつなぐようにする。 ・活動終わりを知らせる音楽を流す。	Explain how to make the card. "First, you choose the paper that you like. And fold it in half." ... What are you drawing? What color are you using? How nice! Beautiful!
Closing (10min.)	6. 活動のふり返りをする。 (1) 作ったカードを紹介する。 (2) 今日の学習でを発表する。 (3) 次時の活動を確認する。 7. 終わりの挨拶をする。 Thank you Amanda-Sensei. See you.	Please show us your cards. ・1時間の頑張りを賞賛する。 Please write your reflection card. ・カードを作る際に話したことや困ったことを確かめ、必要な場合はクラスルームイングリッシュとしておさえるようにする。 ・前もって作っておいたカードの中身を見せることで、自分も作ってみたいという意欲を高めるようにする。 That's all for today. Thank you Amanda-Sensei. See you next time.	Ask the students "Did you enjoy today's lesson?" and "Any Volunteers?" Say good bye to the students and close the class.